



福岡県医第 676 号 (総)

平成 25 年 6 月 3 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松田 峻一良
(公印省略)

公益財団法人 臨床研究奨励基金助成希望者募集について

本件につきまして、公益財団法人 臨床研究奨励基金より下記の助成希望者募集の案内が参りました。

つきましては、別添の助成要項にて貴会会員への周知方いただきますとともに、応募がございましたら、7 月 19 日 (金) までに本会総務課宛、別添の申請書によりご推薦くださいますようお願いいたします。本会にて取りまとめて応募いたします。

1. 臨 床 研 究 助 成 (平成 2 5 年度)
2. 外国人学者招聘助成 (平成 2 6 年度)
3. 日本人海外研修助成 (平成 2 6 年度)

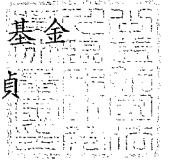
小郡三井医師会より

会員福祉担当理事 権藤秀之
会長 蒲池 壽

平成25年5月15日

公益社団法人 福岡県医師会
会長 松田 峻一良 様

公益財団法人 臨床研究奨励基金
理事長 鎌 田 迪 貞



助成希望者募集のご案内

当財団では下記の助成活動を行っております。貴機関内にご周知いただきますとともに、助成希望者がおりましたら、ご推薦下さい。

1. 臨床研究助成（平成25年度）
2. 外国人学者招聘助成（平成26年度）
3. 日本人海外研修助成（平成26年度）

1) 申請要領 それぞれの助成要綱を参照のうえ、各申請書を作成の上、提出して下さい。

(当財団ホームページからもご覧いただけます。)

2) 提出先 〒810-0041

福岡市中央区大名2丁目8番1号

肥後天神宝ビル5F

公益財団法人 臨床研究奨励基金

3) 提出期限 平成25年 7月31日（水）

4) 決定通知 助成審議委員会で選考のうえ決定し、平成25年
11月上旬頃迄本人宛に通知します。

以 上

臨床研究助成募集要綱

公益財団法人 臨床研究奨励基金

本財団は、医学・医療、生命科学（歯学、薬学、看護、福祉、医療管理等の関連領域を含む）に関する研究や技術開発、学術集会や市民啓発活動、また人材育成及び国際交流を助成することによって、医学及び医療技術の進歩に寄与し、社会の公益増進を目指すことを目的として設立された公益財団法人である。

1. 臨床研究助成の趣旨

医学、医療、生命科学に関する研究や技術開発で、独創性と計画性豊かな研究開発を助成することによって、この分野の進歩、発展に寄与することである。

2. 応募の資格 上記研究開発に従事する個人

3. 助成予定件数 年間 8～10 件

4. 助成金額 1 件 100 万円以下

5. 研究期間 助成決定日から次年度 3 月 31 日

6. 応募方法及び受付期間

所定の申請書に必要事項を記入し、所定の受付期間内に、本財団事務所に提出するものとする。

7. 選考方法

助成審議委員会で選考、決定する。

8. 選考基準

- a. 独創性、計画性、研究領域での整合性等が認められ、また社会貢献の可能性が期待でき、さらに研究開発の成果が相当の確実性をもって予見される研究
- b. 萌芽的研究
- c. 主たる研究が福岡県内で行われるもの
- d. 45 歳未満の研究者
- e. 所属長の推薦がある者
- f. 除外条件：国、他の財団や団体から高額の助成を受けている者、本財団の臨床研究助成を 3 年以内に受けている者及び高名な研究者

9. 助成金の使途 申請書記載を原則とする。

10. 財団への報告

研究報告書および収支決算報告書を、研究終了の翌年度末までに本財団理事長あて提出すること。研究報告は翌々年度の財団年報に収載する。

11. 研究成果の発表

研究成果の発表は自由である。ただし発表論文に際しては本財団の助成による旨を明記すること。また発表論文を本財団あて提出すること。

公益財団法人臨床研究奨励基金（西暦年）研究助成金

Grant of The Clinical Research Promotion Foundation（西暦年）

臨床研究助成申請書

(臨研-1)

平成 年 月 日

公益財団法人 臨床研究奨励基金

理事長 鎌田 迪貞 殿

主研究者 _____ (印)

所 属

住 所

電話番号

主研究者の略歴

生年月日

年

月

日生

才

最終学歴

年

月

大学

学部 卒

学位の有無

博士

現 職

(

年

月

日より)

共同研究者 (所属、職名も記入すること)

主要業績 (最近5年間の主要なもの5編以内)

研 究 題 名

助成希望額

円

目 的（具体的かつ特色を記入）

方法および実施計画（具体的かつ簡明に記入）

期待される成果

助成金の使途（項目をあげ、具体的に記入）

国または他団体よりの援助(過去３年間) 有 ・ 無

援助団体名

金 額 円

推 薦 書

平成 年 月 日

公益財団法人 臨床研究奨励基金

理事長 鎌田 迪貞 殿

推 薦 者

⑩

所属および職名

推薦理由

注記：推薦者は、申請者が現在所属する機関の長（学長、学部長、病院長等）、もしくは
申請者が現在所属する部署の所属長（教授、診療部科長等）によるものとする。

日本人海外研修助成募集要綱

公益財団法人 臨床研究奨励基金

本財団は、医学・医療、生命科学（歯学、薬学、看護、福祉、医療管理等の関連領域を含む）に関する研究や技術開発、学術集会や市民啓発活動、また人材育成及び国際交流を助成することによって、医学及び医療技術の進歩に寄与し、社会の公益増進を目指すことを目的として設立された公益財団法人である。

1. 海外研修助成の趣旨

医学、医療、生命科学に関する研究や先端技術の向上に寄与するため、外国留学や海外研修を希望する人材の渡航費を助成するものである。

2. 応募資格

医師、医療関係者、研究者で海外研修を希望する個人

3. 助成予定件数 年間 1 ～ 2 件

4. 助成金額 1 件 30 万円

5. 海外研修の時期 次年度内に海外渡航ができること

6. 応募方法及び受付期間

所定の海外研修助成申請書に必要事項を記入の上、所定の受付期間内に、本財団事務所に提出するものとする。

7. 選考方法

助成審議委員会で選考、決定する。

8. 選考基準

a. 海外研修の目的が明確で、少なくとも 4 週間以上、同一施設で研修する者

b. 研修の成果が期待され、研究開発の進歩に貢献できる者

c. 45 歳未満の医師、研究者又は医療従事者

d. 福岡県内居住者を原則とする。

e. 除外条件：① 受入れ先から給与もしくは助成を得る者

② 他から研修助成を得ている者

③ 学会やシンポジウムへの出席

9. 助成金の使途 旅費又は滞在費の一部に充当すること。

10. 財団への報告

研修者は、帰国後速やかに、日本人海外研修報告書を本財団の理事長あて提出すること。

11. 海外研修条件の変更について

渡航が延期になった場合には、その旨を財団に連絡し、承認を得ること。

研修が中止になった場合には助成を辞退すること。

12. 研修成果の発表

研修成果の発表は自由である。ただし発表に際しては本財団の助成による旨を明記すること。

公益財団法人臨床研究奨励基金（西暦年）海外研修助成金
Grant of The Clinical Research Promotion Foundation
（西暦年）

日本人海外研修助成申請書

(研修－1)

平成 年 月 日

公益財団法人 臨床研究奨励基金

理事長 鎌田 迪貞 殿

研修希望者 _____ (印)

所 属

役 職

住 所

電 話 番 号

受入研修施設

施 設 名

所 在 地

施 設 長

研修期間

年 月 日 から 年 月 日 まで

研修目的 (具体的に記入)

研修計画 (具体的かつ簡明に記入)

期待される成果

海外研修に関して他団体よりの援助(過去３年間) 有 ・ 無

援助団体名

金 額 円

研修施設より給与もしくは援助 有 ・ 無

推 薦 書

平成 年 月 日

公益財団法人 臨床研究奨励基金
理事長 鎌田 迪貞 殿

推 薦 者 (1) _____ (印)

所属および職名

推 薦 者 (2) _____ (印)

所属および職名

推薦理由

- 注記 １．受入施設長若しくはこれに代り得る者の受入承諾書ないしこれに代り得る書面を添付のこと。
 ２．推薦者（１）は、研修者が現在勤務する機関の長（学長、学部長、病院長等）による。
 推薦者（２）は、研修者が現在勤務する部署の所属長（教授、診療部科長等）による。

外国人学者招聘助成要綱

公益財団法人 臨床研究奨励基金

本財団は、医学・医療、生命科学（歯学、薬学、看護、福祉、医療管理等の関連領域を含む）に関する研究や技術開発、学術集会や市民啓発活動、また人材育成及び国際交流を助成することによって、医学及び医療技術の進歩に寄与し、社会の公益増進を目指すことを目的として設立された公益財団法人である。

1. 外国人学者招聘助成の趣旨

医学、医療、生命科学に関する研究や先端技術の向上に寄与するため、またこの分野における国際交流を活発化するため、外国人学者又は研究者の招聘を希望する個人に対して招聘費を助成するものである。

2. 応募資格

医師、医療関係者、研究者で外国人学者の招聘を希望する個人

3. 助成予定件数 年間 1 ～ 2 件

4. 助成金額 1 件 30 万円

5. 招聘の時期 次年度内に招聘ができること。

6. 応募方法及び受付期間

外国人学者の招聘助成を希望する者は、所定の外国人学者招聘助成申請書に必要事項を記入の上、所定の受付期間内に、本財団事務所に提出するものとする。

7. 選考方法

助成審議委員会で選考、決定する。

8. 選考基準

- a. 招聘により著しい成果が期待される者
- b. 外国で活動している医師、医療関係者、研究者(国籍不問)
- c. その専門分野で高い評価を得ている者
- d. 指導や共同研究を目的とし、できれば4週間以上日本に滞在し、主たる活動場所が福岡県内である者
- e. 除外条件：学会やシンポジウムへの招聘
他から招聘助成を得ている者

9. 助成金の使途 旅費又は滞在費の一部に充当すること。

10. 財団への報告

招聘助成を受けた者は、外国人学者が帰国後速やかに、外国人学者招聘報告書を本財団の理事長あて提出すること。

11. 招聘条件の変更について

招聘が延期になった場合には、その旨を財団に連絡し、承認を得ること。

招聘が中止になった場合には助成を辞退すること。

12. 招聘の成果の発表

招聘の成果の発表は自由である。ただし発表に際しては本財団の助成による旨を明記すること。

公益財団法人臨床研究奨励基金（西暦年）外国人学者招聘助成金
Grant of The Clinical Research Promotion Foundation
（西暦年）

外国人学者招聘助成申請書

(招聘－1)

平成 年 月 日

公益財団法人 臨床研究奨励基金
理事長 鎌田 迪貞 殿

招聘希望者名 _____ 印

所 属

役 職

住 所

電 話 番 号

招聘する外国人学者

氏 名 _____

所 属

役 職

住 所

受入研究施設

施 設 名

所 在 地

施 設 長

身許引受人 (氏名・住所・連絡先等)

招聘期間

年 月 日 から 年 月 日 まで

招聘目的 (具体的に研究題名など)

招聘計画	(具体的かつ簡明に記入)
期待される成果	
外国人招聘に関して他団体よりの援助(過去3年間)	有 ・ 無
援助団体名	
金 額	円

推 薦 書		平成 年 月 日
公益財団法人 臨床研究奨励基金 理事長 鎌田 迪貞 殿		
推 薦 者 (1)		①
所属および職名		
推 薦 者 (2)		②
所属および職名		
推薦理由		

- 注記 1. 外国人学者の履歴書及び業績は別添のこと。
2. 受入施設長若しくはこれに代り得る者の受入承諾書ないしこれに代り得る書面を添付のこと。
3. 推薦者(1)は、招聘者が現在勤務する機関の長(学長、学部長、病院長等)による。
- 推薦者(2)は、招聘者が現在勤務する部署の所属長(教授、診療部科長等)による。

外国人学者受入承諾書

所属・職名 _____

氏 名 _____

上記の者を下記のとおり受け入れることを承諾します。

記

(研究課題)

(受入施設)

(受入代表者)

(研究期間) 平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで

平成 年 月 日

_____ (印)

以 上